

Vol.18

Seiun



Interview

輝く人

普通科6期生 加須屋さん
4人からのメッセージ

恩師から 菅野 修一 先生・南 利明 先生

同窓会報告

幹事's 同窓生探訪

新幹事キャンパスライフ

同窓会室より

泉ヶ丘祭info/会計報告
『青雲会』ゴルフコンペ報告/第1回幹事総会報告

泉ヶ丘通信

club activity / 泉ヶ丘創立30周年記念事業
卒業生母校に帰る / アドミッションセンターより



帝塚山学院泉ヶ丘同窓会会報

<http://www.tezuka-izumi.jp/>

「医者になりたい」

という目標があったから努力もできたし、今の自分があるんだと思います。

カスヤ
加須屋 崇
(普通科 6 期生)

—— 久しぶりやなあ〜、卒業以来やから20年振りやでえ。

加須屋 久しぶり〜。この間、同級生が偶然診察に来てくれたんやけど、全然気づいてもらわれへんかったわ〜(笑)

—— 早速ですが、泉ヶ丘校を卒業されてから現在に至るまでの経歴を教えてください。

加須屋 泉ヶ丘校から関西医科大学へ進み、平成9年に卒業後、整形外科医として関西医科大学付属病院で2年ほど勤務し、平成11年から滋賀の大津赤十字病院、平成14年からは城東中央病院に勤務、平成15年に一度関西医科大学付属病院へ戻り、整形外科助教を務めた後、平成16年からは明生病院へ勤務し、整形外科部長を経て、平成22年6月に当クリニックを開業しました。

—— 医師でもいろいろな診療科目がありますが、その中で整形外科を選んだ理由があれば教えてください。

加須屋 実家が歯科医だったこともあり、漠然と医者になりたいという思いはありました。医師としての勉強をしていく間に、特定の部位だけを診るのではなく、全身の運動機能に関わり、自分の行う治療が患者さんの生活の質の向上に寄与できる点などに魅力を感じ、整形外科を選びました。



—— お仕事の内容について、もう少し詳しくお話を聞かせてもらえますか？

加須屋 勤務医の頃は、勤めていた病院が救急病院だったこともあり、交通事故に遭って搬送されてくる患者さんの対応にあたるようなことも多く、年間300〜400件の手術をしていました(整形外科医は「骨の大工さん」という自負を持って、機能の回復のお手伝いをしたいと思っています)。現在は開業医として、骨折やねんざはもちろん、腰痛やリウマチ、スポーツ障害などの治療やその後のリハビリまで含め、地域の方の健康に貢献できるよう取り組んでいます。

—— 勤務医だった頃と現在とで、仕事に対する意識の変化などありますか？

加須屋 先ほどもお話しましたが、救急病院では重症だったり、一刻を争うような患者さんの治療をしていました。自分の力を最大限発揮し、患者さんが治癒された時は嬉しいですし、感謝されることも大きな励みになりました。現在でも治療についての考えに変わりはありませんが、開業してからは、単なる症状の改善だけにとどまらず、時には患者さんの相談相手になったりすることで、心と体、両方の健康に役立てるようになりたと思うようになりましたね。

—— どのようにしてこの場所に決められたんですか？

加須屋 まず人の多そうな所(笑)。その上で、近くに同じ整形外科のなかった現在の場所に決めました。それには2つ理由があって、不要な競争が起きることで医療の質を下げたくなかったことが一つ、もう一つは通いたくても遠くて通いづらかった地域の方、特に高齢者の方に診療の場を提供したかったということもあります。

心と体、両方の健康に役立てるようになりたい！



—— 仕事での心に残るエピソードなどはありますか？

加須屋 エピソードと言えるのかどうかわかりませんが……毎回、治療に来られる患者さんには、最善を尽くして処置させてもらっていますが、それでも中には、何らかの理由で完治しない方もいらっしゃいます。そういう方のことは後々まで気がかりで記憶に残りますね。それと、骨というのは細菌の感染に非常に弱い組織なので、一度感染してしまうと治るまでに2年も3年もかかる場合があります。ですので、手術の際にはいつも気を遣いますね。

—— 今までの人生の中で、感銘を受けた言葉や尊敬する人との出会いなどありますか？

加須屋 医師の先輩から教わった言葉に「後医は名医」という言葉があります。同じ患者さんを診察した場合に、先に診察した医者より後で診察した医者の方が、より多くの情報を得ているので、その分診断が確実になるという意味の言葉なんです。まさにその通りだと思いましたね。その時は非常に感銘を受けましたし、今でも、他の病院で治療された後で僕の所へ受診される患者さんがいても、最初に診た医師の批判は決してしませんから。

—— 高校生活をふり返って、どんなことを思い出されますか？

加須屋 高校2年生の時に、原付バイクで鳥取のおばあちゃんの家まで行ったことがあるんですよ。行って帰るつもりだったんですが、行くだけで疲れ果ててしまい、帰りは電車で帰って来ました。って泉ヶ丘の会報なのにこんなこと話してもいいのかな(笑)。まあ、もう時効だという事で大目に見てもらいましょうか(笑)。



タイガース好きが講じて人体骨格模型にユニフォームを着せるユニークな加須屋さん。

加須屋さんそっくりの人形がお出迎え。

—— 今、会ってみたい恩師はいらっしゃいますか？

加須屋 実は卒業以来、一度も泉ヶ丘校を訪れてないんですよ。だから、学校にも行ってみたいですし、先生方では、高3の時の担任だった清遠先生にお会いしたいですね。

—— 長年の趣味など、お気に入りの事があればお聞かせ下さい。

加須屋 大学の際はヨット部に所属していました。今はもっぱらゴルフですね。

—— ゴルフでしたら、同窓生のゴルフ好きが集まって、定期的に「青雲会」というゴルフコンペも開催しています。そちらにも是非参加して下さい。

加須屋 そうなんですか。大学の後輩で泉ヶ丘校出身の人もいるので、声をかけてみますね。

—— 泉ヶ丘の同窓生や、在校生に何か伝えたいことはありますか？

加須屋 やっぱ、高校時代というのは大事だと思います。僕自身、高校の時に「医者になりたい」と思い、その目標があったから努力もできたし、今の自分があるんだと思います。悔いのないように頑張れたのは良かったですね。僕から言えるのはこれぐらいですかね。

—— 最後に、あなたにとって帝塚山学院泉ヶ丘校とはどんな学校でしたか？

加須屋 楽しかったですね！進学校でしたが、自由な校風もあって、伸び伸びと過ごすことができました。またこれを機会に、同窓生の皆さんとの交流を図れたらいいですね。

—— ありがとうございました。



加須屋 崇 (普通科6期生)

経歴

平成 9 年
関西医科大学整形外科教室 入局
平成 9 年
関西医科大学付属病院 勤務
平成 11 年
大津赤十字病院 勤務
平成 14 年
城東中央病院 勤務
平成 15 年
関西医科大学付属病院 整形外科助教
平成 16 年
明生病院 整形外科
平成 21 年
明生病院 整形外科部長
平成 22 年
かすや整形外科クリニック 開業

好奇心をもって、一生懸命に



国際科 6期生 吉岡 奈美
(現姓 池本)
吉岡奈美税理士・社会保険労務士事務所

数字が大嫌いだっただ典型的文系人間だった自分がなぜか税理士に……？ 税理士・社会保険労務士・ファイナンシャルプランナーとして独立開業して丸6年、毎日しんどいですが楽しく仕事をさせていただいています。この仕事を通じて様々な職種の方、老若男女を問わずいろんな方々に出会えるのが非常に楽しいです。私も世間一般的にはもう中年のオバチャンの部類に入りますが、年配の男性が多い税理士会ではまだまだ超若手？と言われ、あちこちに呼ばれて重宝がられます。独立してやっているという一人では判断が難しい事例などに当たることもあります。諸先輩先生も税務当局の方もとにかく親切に教えていただけます。会社勤めでも人間関係の難しさと重要さは毎日感じさせられます。税理士は数字さえ見ていればよい職業ではなく、いわゆるサービス業だと思います。

ファイナンシャルプランナーの活動としては奈良市立三笠中学の2年生を対象にマネー教育に行っています。教壇に立って私も6年目となりますが、毎年純粋な生徒の反応にドキリさせられます。テーマは一生にかかるお金や税金、銀行、外国のお金や悪質商法など。年7回の授業で同じクラスを担当するので生徒の顔も覚えます。コントやクイズなども取り入れ楽しい授業を心がけていますが、大人と違って子供相手はなかなか難しいです。

私は学生時代、決して優等生タイプと言えない、いわゆるおとなしくはない生徒でした。友達とクラブ活動（バレー部・ワングル部）で頑張ったことだけでなく、学校帰りにパンジョなどにこっそり寄り道し先生から逃げ回って帰ったことも楽しく思い出されます。泉ヶ丘で学んだことは何に対しても好奇心をもって一生懸命取り組むこと。今もその気持ちは持ち続けるようにしています。偶然にも同じ税理士会支部の先生が泉ヶ丘の1つ先輩とわかったり、支部で一緒にいる先生のお嬢さんが泉ヶ丘に楽しく通われているお話をうかがったりしていると、帝塚山泉ヶ丘が懐かしく思い出されます。



みんな学びのデザイナー ～ワクワクの学びを発掘中～



国際科 3期生 原田 美佳
(旧姓 福井)
Learning Designs

大学時代の仲間と Learning Designs (ラーニングデザインズ、以後LDs) というグループで現在活動しています。国際科を卒業後、甲南女子大学で教育メディア研究の第一人者である上田信行先生(現 同志社女子大学教授)のLDsと名付けたゼミで「挑発する学習環境をデザインする」をテーマにラーニングメディアとワークショップ(体験・参加型学習、以後WS)の研究開発を行いました。学習環境のデザインとは、人が自ら学びたくなる状況を提供し、学びのステップアップをサポートすることです。

私はゼミを卒業後、社会経験や子育てを通じ、ワクワクする学びは日常に溢れているということを身をもって体験しました。昨年、それぞれ経験を積んだゼミ卒生4名で「もてなし」「デザイン」「自然」をキーワードにLDsを再結成。学年も住む所も違いますが、メーリングリストやSkypeでのWebミーティングを重ね、ワクワクする学びを創造しています。これまでの活動を簡単に紹介します。

昨年8月に行った「たべることがらをつくらう」ではプレイスマットを作り、パーティ準備の行程にワクワクの学びをちりばめました。そして「キモチのカタチ」@キッズプラザ大阪。大切な人へ贈る「プレゼント心」と自分のキモチをカタチにする「デザイン心」を感じてもらうカード作りWS。昨年のクリスマス・イブに開催し好評を得、今年2月にバレンタインバージョンも開催。多くの反響を呼び、明石市立文化博物館の依頼で来る8月(原稿執筆は6月)に『たのしいはどんなカタチ?』を開催予定。また総合地球環境学研究所の「子供達がつくる国連環境ポスター展 かるたWorkshop」のプロジェクトチームにも参加しました。



WSの時、私はドキュメンテーションを担当しています。参加者のキラキラした表情と言葉をカメラで拾い、LDsのWSの重要な構成要素の一つであるリフレクション・ムービー(以後RM)を制作しています。WSは学びへの動機付けであると私達はとらえ、その後も自ら考え調べ、他者と対話することでその経験や学びを深めてもらいたいです。そんな時にRMを見ることがメタ認知(自分の思考や行動を客観的に認識すること)ができるのです。これはWSで得た経験や学びを他者と共有し資産化、そして学びのステップアップに必要なものだと考えています。制作したRMIはこれまでの活動や今後の予定と共にサイト <http://learningdesigns.jp> でご覧いただけます。また上田先生の著書「プレイフル・シンキング 仕事を楽しくする思考法」もよろしければご参照ください。

みなさんとワクワクする学びの場でお会いできるのを楽しみにしています。

泉ヶ丘校と現在の私



国際科 3期生 右藤 智子
(旧姓 樋上)
学校図書館司書

私は1989年に泉ヶ丘校を卒業した後、東京の大学に進学し、その後神奈川県私立中高一貫校で教鞭をとり、先年度から東京都私立中高一貫校で学校図書館司書として働いています。大阪を離れてからの22年は、生徒たちの年齢以上に年月が経っていることが不思議に思われるほどに、私にとっては本当にあっという間でした。

日々の生活を送りながら、ふとした時に蘇ってくるのは高校時代の楽しかった思い出であり、お世話になった先生方の授業に対する姿勢や学識の深さ、そして温かな励ましのお言葉です。そして、たとえ何年経っていても、会えば全く昔のままに違和感なく話せる泉ヶ丘校の友人たち。3年間で得たすべてが私の心の深いところで根を下ろし、自分が成長していく土台となっていることを感じます。

現在の学校で働き始めた頃のことですが、前任者がパソコンのお気に入り泉ヶ丘校図書館のホームページを入れており、新しい勤務先でいきなり自分の母校に出会ったことに驚きました。泉ヶ丘校とは違い、まだまだ発展途上の学校図書館ですが、だからこそ自分がよりよい図書館を作り上げていくのだという気持ちで、読書環境づくりに努めています。生徒が読書を通して心を潤し、自らを変える力にすることができるよう、そして私たちを取り巻く世界は広く、複雑で、多様性に富むものであることに気づくような展示や特集を心がけています。

泉ヶ丘校で自分が学んだことを、司書という立場から生徒たちに伝えることはたくさんあります。それに加え、常に新しい図書や情報にアンテナを張り、生徒たちが求めるものを的確に、タイムリーに提供することができるよう自ら研鑽を積むことで、より多くのことを生徒たちに還元していくつもりです。それが自分の生き甲斐につながっていると感じる毎日です。



今なお成長中？

普通科 10期生 堀井 昭暢
大阪国際総合法律事務所 弁護士



「地位が人をつくり、環境が人を育てる」という格言めいた言葉がありますが、私の現状は、これに集約されているように思います。

弁護士として8年目を迎えます。この間、企業や各種団体の契約管理、人事労務、事業再編・承継、独占禁止法、倒産法などの相談業務や訴訟対応を中心としながら、刑事事件、家事事件やセクハラ、ストーカー関連事件まで幅広く経験してきました。

業務上、様々な立場の方に対し、説明し納得いただかなければならない機会が多々あります。しばらくご無沙汰している泉ヶ丘校関係者からは、「お前にそんなことできるのか!？」と突っ込まれそうですが、今や私は法的な「しゃべり」に結構自信を持ってさえるのです。

「同じ内容でも伝え方により相手の感じ方が違う」と知るとは、弁護士の専門性に期待する方々を裏切らないための最低条件です。これを意識しながら多くの相談・交渉に取り組んできた結果、自分でも驚くほど機転がきくようになり、対人関係能力が上がってきました。

また、他の職種と同様に、弁護士はとにかくタフでなければやっていけません。仕事が連日深夜に及んだり取扱事件のトラブルが深刻化したりすると、心身共にダメージを受けますが、その時は、自然と泉ヶ丘校で過ごした日々を思い出し、自分を奮い立たせることが多いです。

サッカー部での活動を中心にしながらユニークな先生方や友人に囲まれて過ごした6年間は、本当に多くのことを教えてくれました。ここ一番で発揮できる体力や根性も、業務内外で刺激を与え続けてくれる同期生や先輩・後輩も、全てこの懐かしき輝かしい時期の賜物であり、私にとって泉ヶ丘校は原点回帰の視点から最適の場所となっているだけでなく、今なお成長の糧となっています。

今後の目標は、「しゃべり」が軽薄に見えない風格を得ることですが、こればかりは、今後の「環境」に生み育ててもらわなければならないようです。



恩師から

「お元気ですか」



菅野 修一 先生（社会）

私は今年、還暦を迎えます。六十年も生きてきたので、できれば悟りでも開いて、このままおとなしく過ごせればいいのでしょうかけれども、今はそういう気分にはなれません。

さて、この泉ヶ丘校に就職すると前後して生まれた長男は、大学を卒業して社会人として働いています。娘も同じく半分社会人になりました。二人とも親元を離れています。私も特に大病を患うわけでもなく、趣味のランニングを真夏でも続けて、日に焼けています。

また十年前、私は学院本部に一年間の海外研修を申請して許可され、ソウル大学の研究員として韓国で過ごしました。ちょうどサッカーの日韓共催のワールドカップ大会が開かれた年でした。もっとも、あのときの韓国の親日的雰囲気と熱気は今はどこに行ったのでしょうか。でもそれ以来、韓国人の友人もでき、夏休みに韓国を踏査と称して一人で放浪するのが癖になりました。

ところが今年の3月11日、私のふるさとを大地震が襲いました。親戚とも連絡が十日以上取れず安否が気がかりでした。特に大津波にさらされた海岸部の宮城県多賀城市に住んでいる弟は、ひょっとしたら、と思いました。結果は運良く全員無事でした。

しかし同時に発生した福島原発の事故が、当初の政府の発表よりも、多くの研究者やジャーナリストの調査によってきわめて深刻であることがわかってきました。私は、3月の段階では、放射能の問題は私の故郷の福

島県福島市・同伊達市では、原発から70～80キロ離れているので大丈夫だろうと思っていたのが、原発が爆発した日の風向きと地形の関係で放射物質は西北に流れ、その日の夜に降った雨・雪によって地表に降りていたことがわかりました。福島市近辺では線量が異常に高くなっています。そして、このところテレビを見ていると、数回、渡利小学校という学校の様子が放映されました。放射線から児童を守るために窓を閉め切って授業する様子とか、百人を超える子が来学期には転校するとか。福島市渡利地区は私が小学生から中学生時代に暮らした町です。また福島・伊達地区の主要農産品である桃・梨・柿・リンゴなどはこれから秋にかけて収穫されますが、おそらくあまり買い手はつかないでしょう。観光も、旅館・ホテルは客が入らないようです。地域の経済がダメになります。

私は高校時代に今の福島原発の近くの海水浴場で泳いだ思い出があります。もちろん当時は原発はありませんでした。当時は原発が無くとも高度成長の最中でした。今は勿論立ち入り禁止地区となっています。原発はいらないなあというのが実感です。放射能汚染で百姓をやる土地も無くなってしまったら、日本人は今後どうやって生きていくのだろうと心配です。

さて、自分のことばかり書きました。最後に同窓生の皆さんの御健康と御活躍を心からお願ひして筆を擱きます。

引つ張り出し、新たに購入するなど、今では部屋中にあふれかえってます。中にはもう二度と手に入らない1976年から600本しか製作されなかったマニア垂涎のヤマハSG-175（サンタナが日本公演で使用）なども含まれてます。またバンド活動も中学、高校の同級生とともに時々「おやじバンド」で汗を流してます。そしてこの活動を通して中学、高校の同級生とも頻繁に会うようになりました。同級生はいいものです。どんなに時間が経過していても、どんなに役職が違ってもすぐに当時の思い出に入っていきます。

皆さんは泉ヶ丘時代の中高の同級生と会っていますか。会っていなかったらこの機会に会ってみて下さい。大いに思い出話を花を咲かせて下さい。そして「よし南に会いに行こう」と泉ヶ丘を訪ねて下さい。その時まで物理を教えながら皆さんの来校を待ってます。



「おやじバンド」のメンバーと演奏



南 利明 先生（理科）

泉ヶ丘の卒業生の皆さんお元気ですか。物理の南です。覚えてますか。早いもので私も泉ヶ丘に赴任してから23年になります。この間、普通科12期、17期、24期（中学）、25期と担任をし、現在29期生1年の担任をしています。

同窓会報「青雲」も18号となりました。そして今回ついにこの「恩師から」のコーナーに登場することとなり、改めて既出号を読み直してみ、おおいに困りました。書くことがないのです。そこで思い切って、私の趣味について書かせてもらいます。

実は最近（と言ってももう10年ほどになります）はまっているものがあります。卒業生の皆さんの中にはすでにご存知の方もいらっしゃると思いますが、「おやじバンド」です。私は高校、大学とバンドでギターをつづけていましたが、卒業とともにあれだけ愛したギターを触ることもなくなりました。（皆さんを教えることに全精力を注いでしたので（笑））ところが24期生を受け持っているときに、生徒から「先生、泉ヶ丘祭でやってえな」と、声をかけられました。そのときはすでに40才を回っていたのですが、「いっちょやってみるか」と恥を省みずやってしまったのです。それからはや十数年、演奏する方もそうですが、コレクションの方にも走ってしまいました。昔に持っていたギターを倉庫から



自慢のギターコレクション

同窓会報告

プチ 同窓会

平成14年卒業生 泉ヶ丘中学同窓会

北野 友哉（普通科20期生）

去る2011年3月26日、2002年度帝塚山泉ヶ丘中学校卒業生による同窓会を開催致しました。今でも定期的に会う仲間、卒業後9年ぶりに再会する友達。中学時代お世話になった先生方。高等学校の同窓会とは一味違う同窓会となりました。しかし、久しぶりの再会が感じられないほど皆が気兼ねなく、結婚報告や仕事・学業の近況報告から思い出話、他愛の無い世間話など、色々な話をして盛り上がっていました。当日は肌寒い中での屋上ビアガーデンとなりましたが、参加して頂いた人たちの熱気で肌寒いことすらネタにして楽しんだことを覚えています。集まった人数は学年の半分にも満たなかったのですが、本当に仲が良い学年なのだと実感し、開催して良かったと思いました。



最後になりましたが、今回の同窓会開催にあたり、ご協力して頂いた先生方、同級生の皆さん、本当にありがとうございました。この場を借りて、お礼申し上げます。次回、同窓会を開催するときも今回同様、皆様のご協力お願い申し上げます。次回の同窓会もみんなで盛り上げよう！ありがとうございました！！

普通科7期・国際科6期 卒業20周年記念同窓会のご案内

◎日時 平成24年2月19日（日）13時より
◎場所 スイスホテル南海大阪
※詳しい案内は11月中旬に発送を予定しております。

平成18年卒業生 泉ヶ丘中学同窓会

川上 絵理（普通科24期生）

今年の1月10日、成人の日中学の24期生の同窓会をスイスホテルで開きました。先生方が12名、生徒も115人も集まるという盛大なパーティーになりました。



当日は、まず先生方から成人祝いのお言葉を頂戴し、みんなで美味しいご飯を食べながら6年間の思い出について語りあい、思い出のスライドショーを見ました。

2時間というとても短い時間でしたが、久々に会うちよっぴり大人になったみんなの楽しい時間はあっという間でした。在校中あまり話したことのない友達と話したり、今だから話せる暴露話、いつまで経っても忘れない面白い話をして、みんなほっぺが痛くなるまで笑いあいました。

お越しくださった先生方やみなさん、ほんとうにありがとうございました。また、いつかみんなでお会いしましょう！

当日みんなで見た藤さんと柴田さんが制作してくれた思い出のスライドです。是非、ご覧になってください。

YouTube アドレス

http://www.youtube.com/watch?v=_1XcAIdAQWQ

来年は私たち普通科7期生・国際科6期生が卒業してちょうど20周年となります。これを記念して、同窓会を開くことになりました。卒業してから20年、久しぶりに会う仲間たちと旧交を温めようと思います。

当日は 恩師の若菜・乗原・大山・永田・菅野・岩崎先生も出席なさる予定です。ぜひとも万障お繰り合わせの上、ご参加下さいますようお願い申し上げます。

記念同窓会準備委員会／河原田篤紀／平野 佳之／曾根 真里

帝塚山学院 東京同窓会レポート Report

広報委員長 岸本威也



去る7月10日に、東京、赤坂見附にありますホテルニューオータニ・芙蓉の間におきまして、2011年度帝塚山学院東京同窓会総会が開催されました。例年、泉ヶ丘同窓会会長が来賓として出席されるのですが、今回、取材と同窓会運営の視察を兼ねて、私と島田副委員長も出席させていただきました。

同窓会当日は抜けるような夏空の下、110名の方が出席され、会場内では同級生や恩師との再開を懐かしんだり、近況を話されたりする方々で終始和やかな雰囲気にも包まれていました。

また今年は、卒業生のスペシャルゲストとして、元サッカー日本代表監督の岡田武史さんの参加もあり、同窓生とのお話や記念撮影、岡田さんとのじゃんけんゲームなど、楽しい進行にひと役買われていました。

ゲスト演奏では、恒例の男性コーラス「まつぼっくり」と東京同窓会をきっかけに誕生したお江戸のマダムコーラス「MADAM e DO」の皆さんによる素敵な歌声の披露や、もう一組のゲスト、桑名晴子さんと柴田乃生子さんによるライブなど、盛りだくさんの内容であつという間に時が経ちました。

同席した東京在住の先輩方にも温かい言葉をかけていただいたり、運営面でも参考になる事柄があつたりと、とても得るものの多い東京同窓会となりました。泉ヶ丘同窓会同様今後の発展がますます期待されます。泉ヶ丘校出身で東京にお住まいの方、是非東京同窓会にも顔を出されてみてはいかがでしょうか？



お江戸のマダムコーラス
「MADAM e DO」

桑名晴子さん
柴田乃生子さんによるライブ

Special
Guest

元サッカー日本代表監督の
岡田武史さん

次回開催予定：2012年7月8日（日）ホテルニューオータニ
お問い合わせは泉ヶ丘同窓会事務局まで TEL 072-293-8680



泉ヶ丘校の卒業生で、現在同窓生が気軽に訪ねることのできる仕事をされている方をとり上げ、誌面で紹介することにより、同級生はもちろん、先輩、後輩の垣根も越えた同窓生同士の交流や親睦を深めるきっかけになればいいなと思い始めました。(取材：普通科 6 期生 岸本威也)



洋酒くろしお (普通科2期生 槌賀 一仁)

今回、まずご紹介するのは、普通科2期生の槌賀一仁さんが店主をされている「洋酒くろしお」です。

槌賀さんは泉ヶ丘校卒業後、飲食業、それも自分のバーを開きたいという夢を持ち、ミナミは鰻谷周辺のバーで働き、経験を積まれます。

最初の開店のチャンスは、27才の時に訪れます。しかし、折しも世の中はバブル崩壊直後、悩んだ末、今は店を出すタイミングではないと判断し開店は見送りました。

その後、再び飲食店で働いたり、時にはバスプロ(プロのブラックバスの釣り師)として生計を立てていたこともあったそうです。

そうして希望を捨てずに10年近くを過ごし、ついに2006年、38才の時に念願の自分の店をオープンしました。

店名の「くろしお」は、釣り好き、船好きでもある槌賀さんが、その両方から、連想される言葉を選んで名付けられました。

その店内は、英国の豪華客船のバーをイメージした造りになっており、船舶用の丸窓やお店自慢の南米産プビンガの木の一枚板を用いた、長さ8mのバーカウンターを配した、落ち着いてお酒を楽しめる空間になっています。



お店のメニューは、「洋酒くろしお」の名の通り、モルトウイスキーをメインにしたラインナップで、およそ100銘柄を揃えています。また、その他のバーボンやリキュールを合わせると、その

数は200種類ほどにもなります。

カクテルも充実しており、中でもフレッシュカクテル(凍らせた果実をミキサーで砕いて作るカクテル)がおすすめのことで、これからの暑い季節は、スイカカクテルがおいしそうです!フードも多数ありますし、25名ぐらいまでの貸切もOKですので、パーティーなどに利用されてもいいかもしれません。

現在、お店は年中無休で営業されており、数少ないお休みの楽しみは、愛犬(ブルドッグ)のお散歩だそうです。過去には友ヶ島や琵琶湖での釣りを楽しんでいた槌賀さん、時間がとれたら船に乗って海釣りを思いっきりしたいというのが最近の願いだそうです。

同窓生はもちろん、脇田校長や谷教頭、森俊樹先生といった先生方も度々来られるというこちらのお店「『青雲を見たよ』」と言えば何かいいことがあるかも?」とは槌賀さんのお言葉。みなさんも一度行かれてみてはいかがでしょうか?



洋酒くろしお
〒542-0083 大阪市中央区東心斎橋2-5-21
TEL06-6211-2141

■ホームページ
<http://www.bar-kuroshio.com/>

ひまわり整骨院 (普通科6期生 片上 清勝)

続いてご紹介するのは飲食店のオーナーから整骨院の院長へ転身された異色の経緯をお持ちの普通科6期生の片上さんです。

片上さんは泉ヶ丘校卒業後、アルバイトで勤めた飲食店で接客業の楽しさを発見し、弱冠20才で津守に自分の店をオープンします。

それからしばらく後、お客様の一人であった飲食店のオーナーの誘いもあって、本格的にミナミへ進出します。そこからの約10年間はミナミの中心部で仕事をし、大阪の空気を肌で感じる日々を過ごされました。

そんな中で30才の時にお母様を亡くされます。生前、お母様から「飲食業は30才まで」と事あるごとに言われていたという片上さん。

これも何かの巡り合わせだと考え、当時、すでに歯科医師をされていたお兄様のアドバイスもあって、心機一転、柔道整復師への道を歩む決意を固めて専門学校へ進み、資格取得後は6年間ほど別の整骨院で経験を重ね、2008年36才の時に開業、現在に至ります。

院内に入ると、天井一面に描かれた空の絵が目に入り、とても明るく開放的な印象です。

治療や施術は基本に忠実で、オーソドックスな方法ですが、患者さんとのコミュニケーションをととても重視しており、院長自身の話好きで楽しいキャラクターも手伝って、常に笑いの絶えない整骨院だというのが自慢です。

同窓生でも、こちらを訪れる方はいらっしゃる、同窓会副会長の井上



院内に入ると、天井一面に描かれた空の絵が目に入り、とても明るく開放的な印象です。

治療や施術は基本に忠実で、オーソドックスな方法ですが、患者さんとのコミュニケーションをととても重視しており、院長自身の話好きで楽しいキャラクターも手伝って、常に笑いの絶えない整骨院だというのが自慢です。

同窓生でも、こちらを訪れる方はいらっしゃる、同窓会副会長の井上

さくらさんや、登先生を始め、サッカー部のOBの方達も多数お越しになるそうです。

休日は潮干狩りや川遊びにバーベキューとアウトドアを楽しんでいます。仲間内でのゴルフにもよく行かれているそうで、最近でも同窓生のゴルフ好きが集まって主催するゴルフコンペの青雲会にも参加され、同窓生や先生方との交流を深められたそうです。



院長よりメッセージ

どんな痛みや体の不調も改善してみせるというのがモットーです。患者様のお話をよく聞いて、親身にすることで、体だけではなく、心のケアまでできるようになりたいと考え、日々努力しています。体の痛み、違和感を感じておられる方は、相談にお越しになって下さい。



ひまわり整骨院
〒592-8341 大阪府堺市浜寺船尾町東1-139
TEL 072-262-5566



新幹事キャンパスライフ

大学に入学してあつという間に夏休みを迎えるまでになりました。最初は一人暮らしというもあり不安で慣れない生活を過ごしていましたが、友達もでき、いいサークルにも恵まれ気づけば楽しい日々を過ごしていました。そこで関西学院でのキャンパスライフを紹介します。

関西学院大学 国際学部
西川 翼
(国際科 25 期生)



10:20 起床

2 限からの授業も多いので高校時より遅起き!

11:00 登校

高校と違い原付で通うことができるので学校までは一瞬です。ただ一人暮らしなので寝過ごすことも大変ですね(笑)

11:10 講義

高校と違い 90 分授業で大変ですが、自分が興味のある科目を履修しているので楽しく学べます。ただ大学はサボっても大丈夫などと授業もずいぶんといきなり出席をとられることがあったり、テストの内容がわからなかったり単位を落とすなど痛い目を見ますよ〜。

12:40 昼休み

大学の食堂は値段が安いしそれに加え種類も多く毎日飽きずに食べることができます。他にも学内にはコンビニなどの色々な店があるのでとても便利です。

15:10 講義

大学の授業は高校と違い自分で時間割を作るので、この日はがつり勉強しよう、この日は昼からはオフにしようとか、またうまいこといって一日オフもできます。他にもこの先生はレポートがきつい、テストがむずかしいなどもあり、履修は大学生活において鍵を握っているの、ぜひとも時間割を決める時は先輩に相談しましょう!

17:00~22:00 サークル&アフター

授業が終わればみんなでフットサルのサークルへ。サークルといえどレベルは高いのでとても楽しいです。終わったらみんなでワイワイはしゃぎながらご飯に行きます。先輩が出してくれることが多いので一人暮らしとしては助かりますが、いつか自分もそういう立場に…(笑)



大阪医科大学
大仲由記子
(普通科 26 期生)

ついこの前大学に入学したばかりなのに、もう夏休み前です。大学にも慣れ、部活やバイト、遊びとなにかと充実した日々を送っています。そんな私のキャンパスライフについて書こうと思います。

6:00 起床

ほぼ毎日1限があるのでこの時間に起きます。

7:30 出発

学校までの通学時間は1時間ほどです。なんば、梅田を通るので寄り道もできます♪

9:00~10:30 1限 10:40~12:10 2限

大阪医科大学では他大学のように自分で時間割りを組むことなく、授業はほぼ必修です。しかし、やはり自分の興味があることなので楽しいです!

12:10 昼食

高槻には飲食店がたくさんあるので、3限がない日はよく友達と食べにいきます!

13:00~14:30 3限 14:40~16:10 4限

自分のとる選択科目によって1日の過ごし方もだいぶ変わります。また、大学は単位をとれないと意味がないのでテストが重要です。欠点をとると大変です!

17:00~ 部活

部活はダンス部に所属しています。ジャンルは自分で選べ、先輩方が教えてくれます。週に2回ですが、部室はみんな大好きな場所なので授業が終わるとよく行きます。上下関係がゆるく、医学部の先輩が楽しい人が多いのでとても楽しいです!

22:00 帰宅

部活とバイトの日はだいたいこの時間になります。バイトは鰻屋さんで、主に週末です。

6:00
7:00
8:00
9:00
10:00
11:00
12:00
13:00
14:00
15:00
16:00
17:00
18:00
19:00
20:00
21:00
22:00

Campus Life

これらがとある一日のスケジュールですが、大学生活のイメージを持つことができただしょうか。華のキャンパスライフを夢見て高校なんてはやく卒業したいと思っている人はたくさんいると思います。確かに大学は楽しいです。ですが、高校での生活も貴重な体験なので先はかり見ず1日1日を無駄にせず今を楽しんでください。そうすれば、必然的に大学生活も楽しくなると思います。

Campus Life

これが私のキャンパスライフです。部活の日はなかなか家の勉強時間はとれませんが、図書館を利用したりとゆるく勉強しています。他大学のように授業に自由感はありませんが、部活はやはり入ると楽しいし、先輩とのつながりも増えるので、ぜひ入ることをおすすめします!毎日の楽しさがより増します。大学生活にも慣れてきたいま、徐々にぞう実感しています。テスト期間が終われば、約2ヶ月の夏休みです。合宿や旅行、いろいろ計画してるので楽しみです!

同窓会室より

泉ヶ丘祭 info

帝塚山学院 泉ヶ丘同窓会カフェ

今年も同窓会では、「同窓会カフェ」そして「フォトスタジオ」を開店します。卒業生の方々とのコミュニケーションを、お気軽にお越し下さいませ!

9月17日(土)開催 10:00~



ホームページをリニューアルしました!



見やすく
シンプルに!

ホームページアドレス
<http://www.tezuka-izumi.jp/>

平成22年度 会計報告

収入の部 (22年度決算)

会費	5,420,000	泉ヶ丘創立30周年寄付金	0
総会会費収入	629,000	雑収入	480
寄付金収入	9,096	受取利息	26,061
学院創立100周年寄付金	41,680	合計	6,126,317

支出の部 (22年度決算)

連絡協議会分担金	196,600	広報費 (WEB制作)	0
贈答費	498,285	総会関連費	1,686,514
謝礼費	56,680	備品消耗品費	116,032
通信・慶弔費	129,593	会費返金 (転学・退学・入学辞退者)	160,000
郵便費	340,051	学校協力準備金引当繰入費	200,000
東京同窓会関連費	40,000	学院創立100周年寄付金引当繰入費	41,680
会誌費	696,622	泉ヶ丘創立30周年寄付金引当繰入費	0
活動費	316,949	雑費	4,826
人件費	1,580,100	合計	6,063,932



訃報

国際科 1 期生 鈴木真理子さん (旧姓 明石)

心よりご冥福をお祈り致します。

住所変更された方・不明者に関する情報は、帝塚山学院泉ヶ丘同窓会事務局 まで

住 所 〒590-0113 堺市南区晴美台4丁2番1号 帝塚山学院泉ヶ丘同窓会事務局 TEL&FAX.072-293-8680

E-mail t.izumi@aurora.ocn.ne.jp HP <http://www.tezuka-izumi.jp/>

第1回 帝塚山学院泉ヶ丘OB(青雲会) ゴルフコンペを開催しました!

第1回幹事：普通科3期生 岩崎満弘・菊之井秀年
国際科2期生 奥村幸恵・高原聖子



去る平成23年1月23日(日)泉ヶ丘カントリークラブ(堺市南区)にてゴルフコンペを開催しました。

同窓会幹事会で同窓生、恩師を対象としたゴルフコンペ開催の提案があり、まずは試験的に開催してみようということになりました。連絡先のわかる範囲内で参加を募ったのが同窓生1~13期生38名、恩師6名の盛大な会となりました!それまで続いた寒波がうそのように、当日は春のような陽気に恵まれ参加者全員大いにゴルフを楽しみました。各期別チームと、恩師2チームによるダブルペリア方式での団体戦を行い、栄える優勝は日頃の特訓の成果を発揮された松下先生、阪口先生、木内先生チームでした!優勝チームの賞金はご厚

意により、会食費用の一部と持ち回りの優勝トロフィー代に使わせていただきました。ありがとうございました。

表彰式では参加者のみなさんに簡単に近況を語って頂き、和やかな内に会の終了となりました。

また、会の正式名称を同窓会誌「青雲」にちなんで「青雲会」とすることを了承頂き、コンペ会費残金(9,096円)は同窓会へ寄付いたしました。この場をお借りして参加者のみなさまへご報告させていただきます。随時、ホームページにも活動報告します。今後は毎年8月に開催します。ゴルフを愛される同窓生のみなさんのご参加お待ちしております!



成績表・上位3チーム

順位	氏名	コース	スコア	ネット
優勝	先生チーム2			221.40
	阪口 国生		45	71.40
	松下 幸博	44	45	74.60
	木内 秀和	48	49	75.40
	普通科5期チーム			221.80
2位	勝原 一樹		47	72.80
	中江 崇	57	50	73.40
	天見 浩	49	53	75.60
	前田 孝範	58	52	78.80
	普通科1期チーム			225.80
3位	松岡 幹政		50	73.00
	角掛 潤一		53	75.20
	江口 康二	51	47	77.60

次回コンペ案内希望の方へ!

同窓会事務局へ下記事項をメールにて送信下さい。次回幹事よりご案内をメールにてお送りいたします。
件名:青雲会ゴルフ案内希望として ①お名前 ②フリガナ ③科 ④卒期 ⑤性別 ⑥PCメールアドレスを送信ください。



幹事総会報告

会長 山根敬介(普4)



平成23年5月14日(土)午後2時より母校の文化ホールにて、「幹事総会」を開催しました。ご出席いただいた幹事の皆様には御礼申し上げます。

「幹事総会」は、同窓生と幹事の増加に合わせて、機動的かつ公正な同窓会運営を目指した昨年の会則変更により、決算や予算、年度計画の報告と承認をいただくために行う「幹事会」を「幹事総会」と称して、毎年5月に行う予定にしており、今回は初めての開催となり、31名の幹事の皆様のご出席をいただきました。

会長の開会のあいさつから始まり、出席役員の紹介、ご来賓として名誉会長である脇田校長先生のごあいさつ、小西先生の30周年事業のご案内と続き、活動報告、平成22年度決算と会計監査報告、事業計画と平成23年度の予算の説明とご承認をいただきました。

幹事総会終了後は、母校の2階会議室にて、普通科26期生、国際科25期生の新任の幹事の皆様の歓迎会を兼ねて、懇親会を開催いたしました。脇田校長先生をはじめ、谷教頭先生や松下先生にご出席いただきました。学生の幹事の皆様には、卒業生の仕事にもご興味があるようで、卒業生の自己紹介を兼ねたお仕事紹介などで世代を超えた交流ができる貴重で楽しい場になったと思います。

来年以降も5月に実施予定です。同窓会に興味のある方は、是非とも幹事や常任幹事に立候補ください。母校や卒業生との新たな繋がりができると幸いです。

Club activity

Report 2011
部活動報告

高校男子バレーボール部

顧問 北岡 智也



我々、高校男子バレーボール部は、現在1年生4名で活動しております。バレーボールは最低6人必要なスポーツですので、部員不足で今年の4月を最後に公式戦から遠ざかっております。バレーボールのテレビ放送の減少や、全国的な指導者不足(特に中学校において不足)、オリンピック等での全日本チームの低迷などが影響してバレーボールの人気の影をひそめ、部員不足で活動停止中の学校が大阪府下にも多く見られます。そしてとうとう本校のチームにも「部員不足」の4文字が頭につくことになってしまったのです。

活動している4人は全員初心者で、私が中学で担任した学年であったこともあって、入部してくれました。1部に昇格した現高3が引退してからは、高3がたまに練習を見に来てくれることがあるものの、4人で細々と練習しているのが現状です。

高3が引退するときに、4人を呼び出して「部員不足で公式戦に出られないが、続けるか?それとも、別のクラブに移るか?」と聞きました。最悪の場合、男子バレー部を休部にすることも覚悟していたのですが、4人は二つ返事で「はい!つづけます」と答えてくれました。その気持ちがなくならない限りは、一緒に体育館で汗をかこうと活動しています。

このような状態になって意外な変化が見られました。練習できるありがたさ、チームメイトの存在のありがたさ、顧問が練習に来るありがたさを口にするようになったのです。さらには、練習を欠席することでみんなに迷惑がかかることを自覚し、そうならないよう最大限の努力をするようになりました。また、少ない人数でどのように効率よく練習するか、声出しをするかなど、工夫するようになりました。いままで「当たり前」であったことに対して、「ありがたい」などと感じられるようになることは、4人の今後に大きな影響を与えるだろうし、今までにない教育効果があつたと考えております。

また、OB・OGの存在に助けられています。OBの大久保くん(普20期)が中心になって、本校OB・OGチーム「帝球会」を2009年に結成し、他校のOBチームや堺市内の社会人大会、ビーチバレーの大会で活躍しています。土曜日に本校の体育館に来て練習に参加してもらうこ

とで、日頃4人ではできない多角的な練習やゲーム練習を行うことができます。また、4人に対してバレーボールだけでなく勉強や生活に対するアドバイスも与えてくれ、その惜しみない協力には心から感謝しております。

来年、再来年、男子バレー部は活動休止になっているかもしれませんが、素晴らしいOB・OGの皆さんがつくり上げた伝統あるバレー部を簡単に失くすわけにはいきません。強い男子バレー部が復活できるよう、再び近畿大会の舞台に立てよう、今日も頑張って体育館で声を張り上げています。

鉄道研究部 部活動報告

鉄道研究会顧問 糸川 潔

同窓生の皆さん、お元気ですか。

鉄道研究部の顧問の糸川です。鉄道研究部は、鉄道や鉄道模型が好きな者が集まり、8年前に発足しました。

途中部員消滅の危機に陥りましたが、また鉄道好き(別名鉄ちゃん)が集まり、復活させました。現在の部員は中3が4名・中2が1名です。

主な活動は、鉄道関係の部紙の発行・文化祭での取り組みです。活動は不定期にパソコン教室に集まり、「なんやかんや」と鉄道の色々な事を調べています。地味な活動ですが、鉄道の色々な事を調べるのは楽しく、部員も自分たちの知識(鉄道オタク度)の向上を楽しんでいます。

泉ヶ丘祭(文化祭)では鉄道模型を展示しました。3階の美術室ですので、なかなか来てもうえず少しさびしい展示でしたが、来られた方には鉄道模型を運転して頂き、楽しい時間を過ごしてもらえたと思っています。部紙は現在編集中です。北陸本線に関する特集を計画しています。

そして次号では「東北震災と復興する鉄道」をテーマに、読みごたえのある1部紙を計画しています。ぜひご期待下さい。(文化祭会場に用意しておきますので、機会があればお取り下さい。)

また、昨年の文化祭では、部員が撮影した「秋田のローカル線の旅(電車の窓から)」のDVDを販売しました。1枚も売れませんでした。もしよろしければ卒業生の皆様もご購入下さい。こんな感じで活動しています。今後とも宜しくお願いします。



帝塚山学院泉ヶ丘中学校高等学校

創立30周年記念事業のお知らせ

帝塚山学院は、大正6年（1917年）に小学校を開校して以降、幼稚園、高等女学校を次々に開校しますが、男子校の創設は遅れました。昭和16年（1941年）、帝塚山学院創立25周年記念事業として、奈良県に男子7年制高等学校の設立をめざして帝塚山学園を創立しますが、別法人となったことから、帝塚山学院と帝塚山学園はそれぞれ別の道を歩むことになります。

男子校の創設という帝塚山学院の夢は戦後に持ち越され、昭和52年（1977年）になって、大阪府から泉ヶ丘校の校地（約1万坪）を約10億1000万円で購入します。その後6年の準備期間をへて、昭和58年（1983年）4月に男子の中学校と高等学校（普通科）が開校し、翌年、女子の高等学校（国際科）が開校します。わが国初の国際科の設置は、長年の間、帝塚山学院が取り組んできた国際理解教育の伝統を踏襲したものといます。

開校時は中学1・2年各2クラス、高校1年3クラスの合計7クラスでしたが、その後順調に発展し、現在では、中学校13クラス、高校20クラスになっています。平成11年（1999年）から中学校が男女共学と

なり、その後、高校も男女共学となります。また、平成17年（2005年）からは教育課程を中高6年一貫コースと高校3年コースに分け、国際科は高校3年コースに編入されました。

以上のように、社会と時代の変化に合わせて、泉ヶ丘校も大きく変貌してきています。そして、平成25年（2013年）には創立30周年を迎えます。そこで、創立30周年を記念して、

- (1) 30年の歩みを記録した記念誌の制作
- (2) 学院関係者・卒業生等を対象とした記念式典の開催
- (3) 在校生を対象とした記念式典（文化講演会）の開催
- (4) 在校生の保護者を対象とした記念式典（教育講演会）の開催

を計画・準備しています。内容・日程などの詳細は、順次お知らせします。30周年記念事業の趣旨をご理解いただき、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。卒業生の皆様のご活躍は泉ヶ丘校の誇りであり、泉ヶ丘校の発展にもつながります。今後益々のご発展とご活躍を祈念しています。（創立30周年記念事業委員会）

卒業生 母校に 帰る

卒業生の皆様こんにちは。私は国際科17期生です。今年から保健室で養護教諭として勤務しています。卒業して8年、まさか自分が母校で働けるなんて夢にも思いませんでした。出勤し職員室に入る時に「失礼します」と何故か言ってしまったり、恩師に「片山先生」と呼ばれて照れてしまったりと、“慣れた環境”の中での“慣れない状況”に戸惑いながら毎日楽しく過ごしています。今こうしてお世話になった先生方と一緒に仕事をさせて頂く中で、当時の私たちへの愛情や御苦労は計り知れないものだったと気付かされました。今再び、感謝の気持ちでいっぱいです。

さて、母校に帰った経緯についてですが、私の高校卒業後からお話したいと思います。卒後は、国際科らしからぬ看護短期大学と看護大学へ進学し、大学病院で看護師として勤務しました。それと並行して、特別支援教育補助員として小学校に勤めました。特別支援教育補助員とは、特別支援学級に在籍する児童の授業補助を行う先生のことです。そこでの児童達との関わりをきっかけに、自分なりに思うところがあり、養護教諭への転職を決めました。そして、その先に母校があり、こうして8年振りの学校生活が始まりました。保健室には毎日色んな生徒がやって来ます。私は五感を研ぎ澄ませ、生徒からのサインを見逃すまいと必死です。その場をただやり過ごすのではなく、例えば生徒自身に健康問題の原因を考えさせたり、解決に向けて具体的な方法を見出せるよう教育者として生徒に働きかけなければなりません。養護教諭は、日進月歩で心身共に大きく成長する生徒達を預かる責任ある仕事だと感じています。

今現在、皆様もそれぞれの道で立派に御活躍されている事と推察致します。年代が違って全く知らない人同士でも、同じ学び舎で過ごし同じ教育を受けた卒業生ですので、これからも同窓会を通じて母校を盛り立てて行けたらいいですね。我らたくまし。今も大音量で流れていますよ。年に1回送られてくる会報誌を見ながら、これが思い出を振り返るひとつの機会になればと思います。K野、S澤、N井。また遊び。



片山恵子先生
(国際科17期生)

表紙のご紹介

陸上競技部 高3-B 上原敬之

平成22年8月の大阪総体において男子走幅跳優勝、近畿大会出場を決める（近畿大会出場は開校初）。平成23年5月の大阪インターハイにおいて男子走幅跳5位入賞、続く6月の近畿インターハイでは男子走幅跳6位に入賞し、全国大会出場を決める（全国インターハイ出場も開校初）。



アドミッションセンターより

平成24年度入試のお知らせ

【入試関連行事の日程】 ※下記の入試関連行事は、本校にて開催します。詳細はHPでご確認ください。

中学入試関連	入試説明会	10月 8日(土) 14:00～	児童・保護者対象の説明会です(予約不要)。
	プレテスト	11月 3日(木・祝) 8:20～	小学6年生対象で、事前の予約が必要です。同時に、保護者対象の入試説明会も開きます。
	プレテスト個別懇談会	11月12日(土) 9:00～	プレテストの参加者を対象に行います。予約は、プレテストの後に受け付けます。
高校入試関連	高校体験入学	10月22日(土) 13:30～	中学3年生対象で、事前の予約が必要です。
	入試説明会	11月 5日(土) 14:00～	生徒・保護者対象の説明会です(予約不要)。
	入試説明会	12月 3日(土) 14:00～	生徒・保護者対象の説明会です(予約不要)。

【中学校入試について】

■募集人数・日程

コース 定員	区分 日程	1次入試 1月14日(土)	2次入試 1月15日(日)	後期入試 1月17日(火)
医 進(約40名) 特進A(約80名) 特進B(約40名)		約120名	約30名	約10名

●専願・併願制

専願は、泉ヶ丘校を第一志望とし、合格した場合は入学していただくことを条件とします。

●特待生・特奨生制度

特待生(入学金の全額・年間授業料の全額を免除) ————— あわせて
特奨生(入学金の全額・年間授業料の半額相当分を奨学金として給付) ————— 約10名

※特待生、特奨生を希望する方は、ぜひ入試プレテストにご参加ください。

【高校入試について】

■募集人数・日程

コース 定員	区分 日程	1次入試 2月10日(金) 11日(土・祝)	帰国生入試 1月17日(火)
普通科(理数S) 普通科(理数) 国際科		約80名	約5名

●特待生・特奨生制度

特待生(入学金の全額・年間授業料の全額を免除) ————— 若干名
特奨生(入学金の全額・年間授業料の半額相当分を奨学金として給付) ————— 若干名



携帯サイトは
コチラ！
上のQRコードから
アクセスして下さい。

学校案内や募集要項などの資料の請求、入試に関するお問い合わせは泉ヶ丘校アドミッションセンターまでお願い致します。連絡先は下記の通りです。
アドミッションセンター TEL.072-293-1416 FAX.072-293-1417 E-mail nyusi@tezuka-i-h.jp

ごあいさつ

平素は同窓会活動へのご理解ご協力ありがとうございます。

さて、学校法人帝塚山学院は2016年に創立100周年を迎えます。それに先駆けて母校である泉ヶ丘中学校高等学校（以下、泉ヶ丘校）も2013年に創立30周年を迎えます。それぞれの記念事業に関して、同窓会として協力するとともに、同窓生の皆様のご協力を何卒お願い申し上げます。

泉ヶ丘校の価値を高めるのは、我々同窓生の卒業後の活躍にかかっています。6千人を超える同窓生により、社会における泉ヶ丘校の歴史が作られつつある中で、「帝塚山ファミリー」ともよばれる帝塚山学院の同窓生の良き文化を、泉ヶ丘校でも形成されることを願っています。そのために同窓会としては母校との連携を深め、青雲やホームページの刷新、泉ヶ丘祭への参加など、徐々に歩みをすすめています。

卒業して社会に出ると恩師の先生とも違った交流ができます。接点のなかった先輩や後輩との新たなつながりが同窓会で生まれます。母校を訪れ、同窓会にもお気軽にご参加ください。

最後に、青雲18号の発刊に当たり、取材や執筆にご協力いただいた同窓生、在校生、恩師の先生方に感謝申し上げます。



山根 敬介
泉ヶ丘同窓会 会長



100周年記念 募金事業の お願い



「帝塚山学院創立100周年記念」

学校法人帝塚山学院は、創立100周年を期に、深刻かつ急激な情勢変化等により経済的に修学困難となった学生・生徒・児童たちが一人でも多く進学・卒業できるように、独自の奨学金制度をスタートさせたいと考えております。創立100周年を期に募る募金は、全額この「帝塚山学院奨学基金」の資金に充当します。

募金要項の骨子

- ① 募金目標額 3億円 募金口数 1口3万円(2口以上のご協力をお願いします)
※1口未満のご寄付もありがたくお受けいたします。
- ② 募集対象 本事業に賛同頂ける、在校生および卒業生の保護者、新旧の教職員、同窓生、学院関係者並びに法人(企業)
- ③ 募金使途 学生・生徒・児童への奨学基金に充当します。
- ④ 募金期間 2010年7月から2016年3月まで ※期間終了後も継続して募集してまいります。
- ⑤ 芳名録の作成 寄付申込を提出された方々のお名前を継続的芳名録に記載し、「学院通信」などでお知らせいたします。最終的には募金期間終了後、寄付金の金額を記した最終芳名録を作成し、学院に永久保存して顕彰させていただきます。なお、ご本人の希望により匿名扱いもいたします。
- ⑥ 寄付者の顕彰 芳名録に基づき、個人100万円以上、法人300万円以上の寄付者については、学院・住吉キャンパス内に「帝塚山学院創立100周年記念事業寄付者銘版」を設置し、顕彰いたします。

お問い合わせ

学校法人帝塚山学院 創立100周年記念事業局 〒558-0053 大阪市住吉区帝塚山中3-10-51
Tel : 06-6672-1960 Fax : 06-6678-8797 E-mail : 100nen@tezukayama.ac.jp URL : <http://www.tezukayama.ac.jp>